



広報おんな



(第2回恩納村植樹祭の状況)

恩納村役場

恩納村字恩納2451番地
電話番号 098964-8101・8111企画課編集発行
印刷 巴印刷所

恩納村人口

昭和49年5月末現在

人口 8,195(+28)

男 4,164(+15)

女 4,031(+13)

世帯数 1,852(+2)

() 内は前月比

自然に親しみましょう
みどりと自然と
あおい空



愛煙家の皆さん
たばこは村内で
買いましょう!!



火災
救急は
8228番へ





《叙勲を受けた
平安名盛光氏》

輝かしい春の叙勲に

平安名盛光氏（七三才）

天皇誕生日（四月二九日）によって、毎年贈られる春の叙勲が昭和三九年に生存者叙勲制度が復活して以来、恩納村ではこれで二回目の受章者で、一回は大城保光氏（字恩納）が受章、今回の受章は自治功労者としての叙勲で、自治大臣から五月一〇日にその伝達が行なわれた。

同氏が地方自治に貢献されること、四三年有余に亘るすばらしい功績であつて、その栄誉を賛えるとともに、ご本人の今後のご活躍を祈念して六月三日午後五時から役場ホールにおいて、遠くは那覇在住の村人会役員、村内有志並びに役場職員等大多数参加の下に祝賀の宴でとてもにぎわつた。

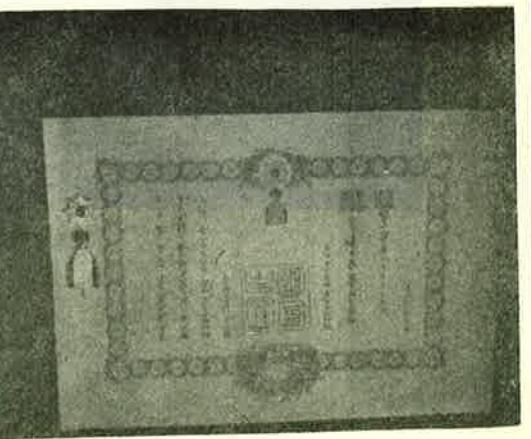
！村道で初めての一車線を完成 両側にグリン（緑化）帯に歩道を完備！

村では、字恩納地内にかねて建設中だった観光道路、嘉真良線が平安名組（平安名盛光氏）によってこの程竣工し、去る五月三十一日にこの道路緑化帯に各関係機関によつて記念植樹祭（村主催）が行なわれ、終了後ただちに開通式のテープカット通り初めを行ない、同時に一般の交通に供用を開始した。

この道路は、雄大な景勝地万座毛への観光道路として建設したもので、実延長六百六十メートル、総工事費九千百九十九万八百十円の内、県補助金三千八十万円、起債四百四十万円、村対応費五千六百七十九万八百十円となつていて、道路構造からして他村では見受けられない見事な村道とされている。観光バスにその他の観光用車はこの路線を利用していただきたい。



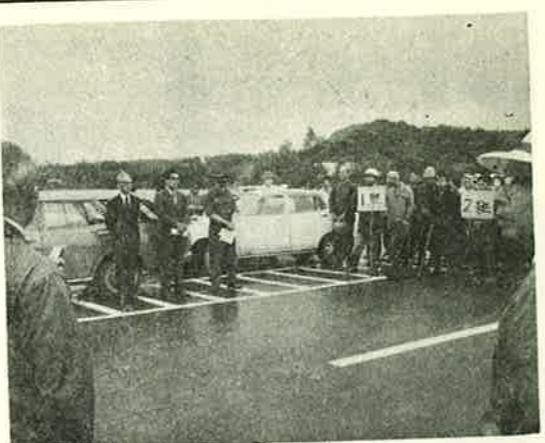
《植樹祭の開式状況》



《勲六等単光旭日章》



《植樹祭の村長あいさつ》



《植樹祭の開式状況》



《植樹祭の沖縄県労働商工部長代理観光課長祝辞》



《植樹祭の沖縄県緑化推進委員会会長（平良県会議長）祝辞》



《植付状況》



《植樹祭の村議会議長あいさつ》



《植付状況》



《植付状況》



《植付状況》



《植付状況》



《植付状況》



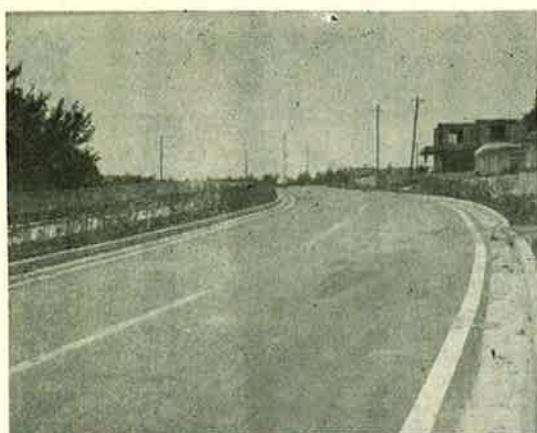
《植付状況》



《植付状況》



《植付状況》



《完成の嘉真良線》



《工事中の嘉真良線》



《漁港の護岸工事》

**前兼久に待望の漁港建設
着々と工事が進められている**

村では、字前兼久地先の公有水面にかねてから計画を進めていた漁港建設が実現し、その第一期工事が平安名組によつて三月から着工し、九月に竣工する予定である。

この漁港は三年掛で完成する計画で、その第一期工事費が国県補助金二千百六十万円をとりつけ、村の対応費が三百五十四万五千円の合計二千五百十四万五千円によつて浚渫、埋立、護岸工事が施工される。

この漁港建設に漁民は大変な大喜びで、ますます海の幸を獲り耕す意欲に燃え充ていて、今後の漁獲高に漁協の事業発展が大いに期待されている。現在、恩納漁協には約百十三隻の漁船があり年間の売上二千百六十万七千円となつてゐる。



《植付状況》



《嘉真良線通り初め》



《嘉真良線通り初め》

昭和四十九年度恩納村体育協会事業計画

月 別

行

事

D プロック野球大会（恩納村、金武村、宜野座村）
（安富祖小中学校グラウンド）

昭和四九年六月下旬

タ 六月三〇日

村球格技大会（山田小中学校グラウンド）

タ 七月十四日

国頭郡球格技大会（本部、今帰仁）

タ 八月四日

村一般陸上競技大会（恩納小中学校グラウンド）

タ 八月十八日

國頭郡一般陸上競技大会（名護市営陸上競技場）

タ 九月十五・十六日

県民体育大会（奥武山陸上競技場）

タ 昭和五〇年一月

村駅伝大会

タ 二月下旬

石川地区駅伝大会（恩納村、石川、金武、宜野座）

池原氏が寄附

交通安全協会 恩納村支部へ

父の日雑感

季節風

恩納村字恩納二四六番地、池原暉一氏は、今後ますます増大する交通事情を憂慮され、青少年交通事故防止対策事業に役立ててほしいと、十万円を寄附した。

六月の第三日曜日は、父の日の行事と定められていますが、これは母の日と同様に米国の一婦人の提唱で始まったと言われています。父の日は従来このかた、なじみ薄く忘れられがちであった。明日は、父の日だと言えば

近隣の女性連中は得手勝手なもので、異口同音、父の日は、自から毎日やっているんじゃないかと言葉がはねかえってくる。このくわしさつたらありやしない。
それに母の日ともなれば、前日から子供達のプレゼントに期待し、もらつたら女性特有の本性えびす顔を表わす。当日になれば有頂天にはしゃぎ回り、前々からの打合せのとおり、友人や元同級生等相集つて、ペシャくしゃべりまくつたあげく、適当な時間がくると打揃つて、どこか目的地へ消えて行くのがここ、このところの母の日である。
米国の一婦人の提唱は、男女同権という趣旨からの提唱だと解するが、ここは男女同権どころか女性上位だといわれている。
父親ともなれば、妻子を養う為に各々の業に日々汗を流して勤勉に働き尽くし、世にいう給料の運び屋とされているが、各家庭運営については、母親に任かせてはいるものの、子供に対する愛情は母親同然何ら変わることはない。子供に父親の力強さを誇示し、運び屋に対する父親像を充分に認識させない。そういう意味からも思い考えるに、いつしょのこと、「母の日」と「父の日」は同じにして、「父母の日」と定め一家団らんの日に出来ないものかと、米国の一婦人ならず一人やしさの父親から提唱したいものである。
(蚊)

第11号

広報おんな

第11号

広報おんな

(10)

(9)



当山君子

え

ん

ぴ

つ

姑を想う

字安富祖
当山君子

那覇で生れ育った私

農業の「の」も知らぬ私に

農業とは、こう言うものだと

教えてくれた夫にただ従い

つけもの、みその作り方等

いろいろ教えて下さった姑

来客がいらっしゃるのを

友人に、いろいろ教えて下さる姑を

うらやましがられ、有頂天になつた私

朝食に食べるみそ汁の味は

格別おいしく

今はなき姑の教えを思い出す

野良仕事の午后

父

字安富祖
当山君子

ひさしぶりに、実家へ里帰りしたら

七九才になる神経質な老父は

今日も晩酌をしながら

白髪いっぱいの頭を下にむけ

額に深いしわをよせて

何を考えているのだろう

：私が四才の時、母がなくなつたので

母の事を想つたのかな…？

それとも

私の嫁入り前の事かな…？

私は、ひとりごと言ひながら

父のそばに、酒をそつとおく

さびしい私の気持を

父は知らない

